

科目名 Course Name	インターンシップ I (医療事務) Internship I				ナンバリング No.	A1-001	
年次	1	期別	前期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	古川 貴子						
連絡方法	C-Learning で対応。または講義棟 2 階研究室						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP1, DP2, DP3						
授業の概要と到達目標	<p>[概要]インターンシップⅡ・Ⅲの事前学習として、インターンシップの意義や心構えについて学び、ビジネスマナー、コミュニケーション能力の向上を目指し、実践的に習得する。</p> <p>[到達目標]①社会人として相応しい身だしなみ、言葉遣いを身につけ、心を込めた明るく爽やかな挨拶ができるようにする。②インターンシップ実習生の立場を自覚し、明確な目的意識を持ち、実習の目標を説明できるようにする。③仕事の基本であるコミュニケーション能力を身につけ、報告・連絡・相談ができるようにする。</p>						
授業の方法	講義、マナー指導、発表、事例研究を取り入れ、実際のインターンシップを想像できるように演習を行う。						
学習成果	L01	働くことはどういうことか、社会人として必要な心構えや、知識・技術はどのようなものか、自身のインターンシップの意義について説明することができる。					
	L02						
	L03	キャリア(職業人生)、コミュニケーション能力、チームワークの力を身につけることができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	個別の対応、支援を行う。						
教科書/参考図書	医療事務講座医科テキスト「医療現場での接遇マナー」(ニチイ学館)、資料配布						
履修上の留意点やルール等	インターンシップ費用(本学手数料および各自の実習費負担として、交通費、通信費、スーツなど)欠席、遅刻は減点(欠席4点、遅刻3点)とする。費用、その他詳細は授業で説明する。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回45分とする。インターンシップノートを作成すること。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	授業に積極的に参加し、疑問や不明点を解決する姿勢を持つ。				
レポート/作品	レポートの提出期限日を守り、自分の考えを論理的にまとめている。	20			
発表	発表内容(十分な考察、発表媒体をわかりやすくまとめている)や発表態度で評価する。			50	
小テスト					
試験					
その他					
合計		50		50	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス、インターンシップまでのスケジュールと諸手続き、これまでの実績と受け入れ先について
	事前・事後学習	授業内容について不明な点があれば積極的に質問する。準備物について確認する。
2	授業内容	ビジネスマナーの基本、受講生の就業体験についての発表、インターンシップ先希望調査
	事前・事後学習	希望するインターンシップ先について考えておく。
3	授業内容	インターンシップとは何だろう① インターンシップの意味を考える
	事前・事後学習	授業内容について不明な点があれば積極的に質問する。
4	授業内容	インターンシップとは何だろう② 学生に求められるもの
	事前・事後学習	インターンシップの意義・心得についてレポートを作成し、次回授業時に提出する。
5	授業内容	心を伝えるコミュニケーションスキル①挨拶、身だしなみ、言葉遣い
	事前・事後学習	日常生活において実践する。
6	授業内容	心を伝えるコミュニケーションスキル②文章の書き方、話し方、メモのとりかた
	事前・事後学習	日常生活において実践する。
7	授業内容	心を伝えるコミュニケーションスキル③電話のかけ方、電話の受け方
	事前・事後学習	日常生活において実践する。
8	授業内容	心を伝えるコミュニケーションスキル④プラスアルファの「心」を伝えるコミュニケーション
	事前・事後学習	日常生活において実践する。
9	授業内容	業種や職種の研究① 企業や団体、職種について調べる
	事前・事後学習	プレゼンテーションの準備と発表練習
10	授業内容	業種や職種の研究② 企業や団体、職種について調べたものを発表し共有する
	事前・事後学習	プレゼンテーションの準備と発表練習
11	授業内容	先輩の事例から学ぶ① ほめられたこと
	事前・事後学習	授業内容について不明な点があれば積極的に質問する。
12	授業内容	先輩の事例から学ぶ② 困ったこと・失敗したこと
	事前・事後学習	授業内容について不明な点があれば積極的に質問する。
13	授業内容	インターンシップの意義について考え目標を立てる
	事前・事後学習	インターンシップの目標についてレポートを作成し、次回授業時に発表、提出する。
14	授業内容	インターンシップの目標について発表を行う
	事前・事後学習	発表準備、レポート提出の準備
15	授業内容	まとめとインターンシップⅡの学びについて
	事前・事後学習	授業内容について不明な点があれば積極的に質問する。準備物について確認する。

科目名 Course Name	インターンシップ I（観光） Internship I (Tourism)				ナンバリング No.	A1-001	
年次	1年	期別	前期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	伊藤 優子						
連絡方法	C-Learning または研究室(2階)で対応。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP1、DP2、DP4						
授業の概要と 到達目標	<p>インターンシップの事前学習として、インターンシップの意義や心構えについて学び、また、ビジネスマナー、コミュニケーション能力の向上を目指し、実践的に習得する。インターンシップ II へとつながる学習を行う。</p> <p>①場面に応じた身だしなみ、相手の立場に応じた言葉づかい、自分から挨拶ができるようにする。 ④仕事の基本である連絡・報告・相談ができるようにする。 ③インターンシップの目標を明確にし、説明することができるようにする。</p>						
授業の方法	講義、マナー指導、報告、発表、そして事例研究を取り入れ、実際のインターンシップを想像できるように演習を行う。個別の対応を行う。						
学習成果	L01	キャリア(職業人生)、コミュニケーション能力、チームワークの力を身につけることができる。					
	L02	働くことはどういうことか、社会人として必要な心構えや、知識・技術はどのようなものか、自身のインターンシップの意義について説明することができる。					
	L03	社会問題の解決に向けて高騰できることができる。					
	L04	文化が違う他者と協力することができる。					
課題に対する フィードバック	授業内でフィードバックする。						
教科書/ 参考図書	適宜、プリンをト配布する						
履修上の留意点 やルール等	インターンシップ費用(保険、資料作成、通信費等)が必要となる。さらに各自のインターンシップを実施するときには、実費負担をすることになる。(交通費、通信費、スーツなど) 事前事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。						
担当教員の実務 経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	要件を充足している。自分の考えを述べている。論理的にまとめている。設問に的確に解答している。	10	10	10	10
レポート/作品					
発表	発表に備えて十分に準備している。自ら意欲的に発表に臨んでいる。話す言葉づかいが適切である。話す速度が適切である。声の大きさが適切である。言葉が明瞭でわかりやすい。(3回)	20	20	10	10
小テスト					
試験					
その他					
合計		30	30	20	20

回数		授業計画
1	授業内容	オリエンテーション(講義内容・スケジュール・受入先等)
	事前・事後学習	先輩の就業体験についてまとめ、自身の就業体験を振り返る。
2	授業内容	ビジネスマナーの基本、受講生の自己紹介発表①
	事前・事後学習	ビジネスマナーの基本について説明することができるようにまとめる。
3	授業内容	インターンシップとは何だろう① インターンシップの意味を考える。
	事前・事後学習	インターンシップの意味について説明することができるようにまとめる。
4	授業内容	インターンシップとは何だろう② 学生に求められるもの
	事前・事後学習	インターンシップの意義と心得について説明することができるようにまとめる。
5	授業内容	心を伝えるコミュニケーション・スキル①(ビジネスマナー、挨拶、身だしなみ他)
	事前・事後学習	ビジネスマナーについて説明することができるようにまとめる。
6	授業内容	心を伝えるコミュニケーション・スキル②(文章の書き方、話し方、メモの取り方他)
	事前・事後学習	コミュニケーション・スキルについて説明することができるようにまとめる。
7	授業内容	心を伝えるコミュニケーション・スキル③ 受講生の就業体験発表②
	事前・事後学習	希望先について考えをまとめ、説明することができるようにまとめる。
8	授業内容	業種や職種の研究① 企業や団体、職種について調べる。
	事前・事後学習	希望先企業、希望の業種における企業について説明することができるようにまとめる。
9	授業内容	業種や職種の研究② 企業や団体、職種について調べる。
	事前・事後学習	希望先企業、希望の業種における企業概要を説明することができるようにまとめる。
10	授業内容	先輩の事例から学ぶ① 感謝されたこと
	事前・事後学習	事例から学んだことをについて説明することができるようにまとめる。
11	授業内容	先輩の事例から学ぶ② 困ったこと
	事前・事後学習	事例から学んだことをまとめて、その点について説明することができるようにまとめる。
12	授業内容	先輩の事例から学ぶ③ 失敗したこと
	事前・事後学習	事例の失敗から学んだこと、どのように修正するか説明することができるようにまとめる。
13	授業内容	前年度の先輩から体験談
	事前・事後学習	体験談から学んだことについて説明できるようにまとめる。
14	授業内容	インターンシップの目標 最終発表③
	事前・事後学習	自身の目標を明確にし、詳細に説明できるようにノートにまとめる。
15	授業内容	インターンシップ I の学びについてまとめ
	事前・事後学習	自身が最も身につけることができた技能や知識を説明できるようにまとめる。

科目名 Course Name	インターンシップ I (スポーツ) Internship I				ナンバリング No.	A2-002	
年次	1年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	板倉 茂樹						
連絡方法	C-Learning または研究室(本館 2F)で対応。オフィスアワーは授業担当時間外。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP1, DP2, DP4						
授業の概要と 到達目標	<p>インターンシップの事前学習として、インターンシップの意義や心構えについて学び、また、ビジネスマナー、コミュニケーション能力の向上を目指し、実践的に習得する。インターンシップ II へとつながる学習を行う。</p> <p>①場面に応じた身だしなみ、相手の立場に応じた言葉づかい、自分から挨拶ができるようにする。 ④仕事の基本である連絡・報告・相談ができるようにする。 ③インターンシップの目標を明確にし、説明することができるようにする。</p>						
授業の方法	講義、マナー指導、報告、発表、そして事例研究を取り入れ、実際のインターンシップを想像できるように演習を行う。個別の対応を行う。						
学習成果	L01	キャリア(職業人生)、コミュニケーション能力、チームワークの力を身につけることができる。					
	L02	働くことはどういうことか、社会人として必要な心構えや、知識・技術はどのようなものか、自身のインターンシップの意義について説明することができる。					
	L03						
	L04						
課題に対する フィードバック	授業内で模範解答等を示し、各自にフィードバックする。						
教科書/ 参考図書	『新編 ワークで学ぶ インターンシップリテラシー』 西文社、長谷川文代						
履修上の留意点 やルール等	インターンシップ費用(保険、本学手数料。各自の実費負担として、交通費、通信費、スーツなど)事前事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。						
担当教員の実務 経験	実務経験(職種: 中学校野球部監督、高等学校硬式野球部アドバイザー、指導主事、校長 職歴: 通算36年)						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	要件を充足している。自分の考えを述べている。論理的にまとめている。設問に的確に解答している。	20			
レポート/作品	発表に備えて十分に準備している。自ら意欲的に発表に臨んでいる。話す言葉づかいが適切である。話す速度が適切である。声の大きさが適切である。言葉が明瞭でわかりやすい。話が論理的に展開されている。		20		
発表					
小テスト	インターンシップに臨む心構えについて、正しい知識をもって説明することが出来る	30	30		
試験					
その他					
合計		50	50		

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス、インターンシップまでのスケジュールと諸手続き、これまでの実績と受入先について
	事前・事後学習	先輩の就業体験についてまとめ、自身の就業体験を振り返る
2	授業内容	ビジネスマナーの基本、受講生の就業体験について発表①
	事前・事後学習	ビジネスマナーの基本についてまとめる
3	授業内容	インターンシップとは何だろう① インターンシップの意味を考える
	事前・事後学習	他の受講生の就業体験も参考にインターンシップの意味について考えをまとめる
4	授業内容	インターンシップとは何だろう② 学生に求められるもの レポート①「インターンシップの意義・心得」、第6回目に提出
	事前・事後学習	インターンシップの意義と心得についてポイントをまとめる
5	授業内容	心を伝えるコミュニケーション・スキル① ビジネスマナー(挨拶、身だしなみ、言葉づかい)
	事前・事後学習	ビジネスマナーについてまとめ、実践する
6	授業内容	心を伝えるコミュニケーション・スキル② 文章の書き方、話し方、メモの取り方、電話のかけ方/受け方
	事前・事後学習	電話のかけ方/受け方についてまとめ、実践する
7	授業内容	心を伝えるコミュニケーション・スキル③ プラスアルファの「心」を伝えるコミュニケーション 調査①希望先、レポート②「コミュニケーション」、第9回目に提出
	事前・事後学習	希望先について考えをまとめる。コミュニケーションについてまとめる。
8	授業内容	業種や職種の研究① 企業や団体、職種について調べる。
	事前・事後学習	希望先企業、希望の業種における企業について調べる。
9	授業内容	業種や職種の研究② 企業や団体、職種について調べた結果を発表、職種についてワークを行い発表②
	事前・事後学習	希望先企業、希望の業種における企業についてさらに詳しく調べる。
10	授業内容	先輩の事例から学ぶ① ほめられたこと
	事前・事後学習	事例から学んだことをまとめる
11	授業内容	先輩の事例から学ぶ② 困ったこと
	事前・事後学習	事例から学んだことをまとめる
12	授業内容	先輩の事例から学ぶ③ 失敗したこと
	事前・事後学習	事例から学んだことをまとめる
13	授業内容	前年度の先輩から体験を聞く、グループワークと発表③
	事前・事後学習	先輩に聞きたいことをまとめる。体験談から学んだことをまとめる。
14	授業内容	インターンシップの目標について、グループワークと発表④
	事前・事後学習	自身の目標を明確にする。他の受講者の目標を参考にする
15	授業内容	インターンシップ I の学びについてまとめと発表⑤
	事前・事後学習	自身が最も身につけることができた技能や知識について振り返る

科目名 Course Name	インターンシップ I (ビジネス・AI) Internship I				ナンバリング No.	A1-001	
年次	1年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	亀田 和則						
連絡方法	C-Learning で対応。研究室は、講義棟 2 階。オフィスアワーは授業担当時間外。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP1, DP2, D4P						
授業の概要と 到達目標	<p>インターンシップの事前学習として、インターンシップの意義や心構えについて学び、また、ビジネスマナー、コミュニケーション能力の向上を目指し、実践的に習得する。インターンシップ II へとつながる学習を行う。</p> <p>①場面に応じた身だしなみ、相手の立場に応じた言葉づかい、自ら挨拶ができるようにする。 ②仕事の基本である連絡・報告・相談ができるようにする。 ③インターンシップの目標を明確にし、説明することができるようにする。</p>						
授業の方法	講義、マナー指導、報告、発表、そして事例研究を取り入れ、実際のインターンシップを想像できるようにグループワーク、演習を行う。個別の対応を行う。						
学習成果	L01	キャリア(職業人生)、コミュニケーション能力、チームワークの力を身につけることができる。					
	L02	働くことはどういうことか、社会人として必要な心構えや、知識・技術はどのようなものか、自身のインターンシップの意義について説明することができる。					
	L03						
	L04						
課題に対する フィードバック	授業内で模範解答等を示し、各自にフィードバックする。						
教科書/ 参考図書	『新編 ワークで学ぶ インターンシップリテラシー』 西文社、長谷川文代						
履修上の留意点 やルール等	インターンシップ費用(保険、本学手数料。各自の実費負担として、交通費、通信費、スーツなど) 事前事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。						
担当教員の実務 経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度					
レポート/作品	要件を充足している。自分の考えを述べている。論理的にまとめている。設問に的確に解答している。	20			
発表	発表に備えて十分に準備している。自ら意欲的に発表に臨んでいる。話す言葉づかいが適切である。話す速度が適切である。声の大きさが適切である。言葉が明瞭でわかりやすい。話が論理的に展開されている。		20		
小テスト					
試験	インターンシップに臨む心構えについて、正しい知識をもって説明することが出来る	30	30		
その他					
合計		50	50		

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス、インターンシップまでのスケジュールと諸手続き、これまでの実績と受入先について
	事前・事後学習	自身の就業体験を振り返り、説明できるようレポートにまとめる
2	授業内容	ビジネスマナーの基本、受講生の就業体験について発表①
	事前・事後学習	他者の就業体験の感想、ビジネスマナーの基本について説明できるようレポートにまとめる
3	授業内容	インターンシップとは何だろう① インターンシップの意味を考える テキスト第1章
	事前・事後学習	他の受講生の就業体験も参考にインターンシップの意味について自身の考えをレポートにまとめる
4	授業内容	インターンシップとは何だろう② 学生に求められるもの テキスト第1章 レポート①「インターンシップの意義・心得」、第6回目に提出
	事前・事後学習	インターンシップの意義と心得についてポイント説明できるようレポートにまとめる
5	授業内容	心を伝えるコミュニケーション・スキル① ビジネスマナー(挨拶、身だしなみ、言葉づかい) テキスト第2章
	事前・事後学習	ビジネスマナーについて説明できるようレポートにまとめる
6	授業内容	心を伝えるコミュニケーション・スキル② 文章の書き方、話し方、メモの取り方、電話のかけ方/受け方 テキスト第2章
	事前・事後学習	電話のかけ方/受け方について説明できるようレポートにまとめる
7	授業内容	心を伝えるコミュニケーション・スキル③ ホウレンソウ(報告・連絡・相談)、質問のタイミングと仕方、内部情報の取り扱い テキスト第2章 調査①希望先、レポート②「コミュニケーション」、第9回目に提出
	事前・事後学習	希望先について自身の考え、コミュニケーションについて説明できるようレポートにまとめる
8	授業内容	業種や職種の研究① 企業や団体、業種、職種について調べる。テキスト第3章
	事前・事後学習	希望の企業、希望の業種における企業について調べレポートにまとめる
9	授業内容	業種や職種の研究② 企業や団体、業種、職種について調べた結果を発表、職種についてワークを行い発表② テキスト第3章
	事前・事後学習	希望の企業、希望の業種における企業についてさらに詳しく調べレポートにまとめる
10	授業内容	先輩の体験からの学習① 体験談から学ぶ テキスト第4章
	事前・事後学習	先輩の事例から体験して学んだこと説明できるようレポートにまとめる
11	授業内容	先輩の事例から学ぶ② 事例研究から学ぶ 失敗したこと テキスト第5章
	事前・事後学習	先輩の事例から失敗して学んだこと説明できるようレポートにまとめる
12	授業内容	先輩の事例から学ぶ③ 事例研究から学ぶ ほめられたこと 困ったこと テキスト第5章
	事前・事後学習	先輩の事例から褒められて学んだことを説明できるようレポートにまとめる、履歴書の作成 テキスト第6章の学習を行う
13	授業内容	前年度の先輩から体験を聞く、グループワークと発表③
	事前・事後学習	先輩に聞きたいことをまとめる。体験談から学んだことを説明できるようレポートにまとめる。社会人の自覚とコミュニケーション テキスト第7章の学習を行う
14	授業内容	インターンシップの目標について、グループワークと発表④
	事前・事後学習	自身の目標を明確にし、レポートにまとめる。他の受講者の目標を参考にする
15	授業内容	インターンシップ I の学びについてまとめと発表⑤
	事前・事後学習	自身が最も身につけることができた技能や知識について振り返りレポートにまとめる